

滋賀プラス・サイクル推進協議会について



① 設置目的

自転車を地域における公共交通体系のひとつとして位置づけていく「プラス・サイクル」構想の実施。「環境の康のため、人にやさしいまちづくり」及びサイクルツーリズムを目指す。

② 設置年月日

平成24年8月23日（※今年8月で9年目）

③ 組織体制等

会長1名、副会長2名、監事2名
 構成：17民間企業・団体、11市町、県警本部、県（事務局：滋賀県土木交通部交通戦略課内）

・ツーリズムWG

構成：13民間企業・団体、国、19市町、県（事務局：滋賀県商工観光労働部 観光振興局ビワイチ推進室ほか）

④ ビワイチ観光推進事業

○ビワイチ・プラス（内陸部ルート）の利用進による新たなサイクリング人口の創出

○安全、安心な受入環境づくり

○民間事業者とのネットワークづくり

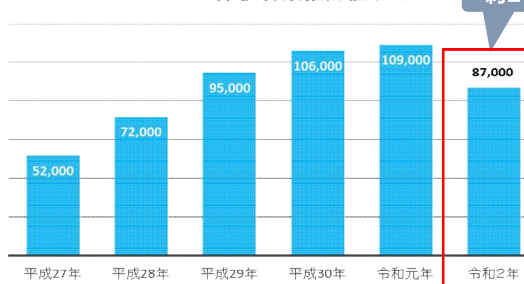
○広域連携等を生かしたPR等の取組

家族連れや女性グループなど様々な年代・多様な層のサイクリング人口を拡大

滞在・宿泊が進むよう地域の魅力発信

- ・特産品などの消費拡大
- ・多様な交流人口の増大
- ・地域経済の活性化

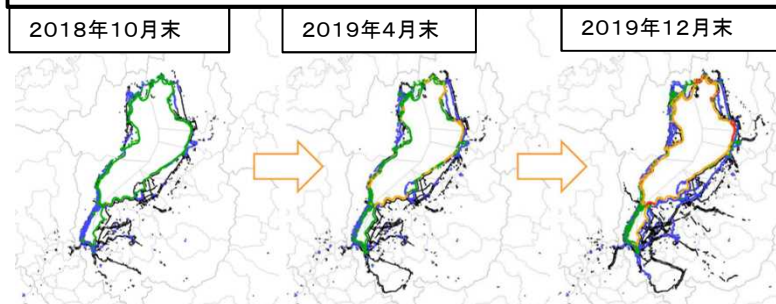
ビワイチ体験者数推計値(人)



延観光入込客数は約3割減。
 一方、サイクリングは密を避けることのできるためビワイチ体験者数は約2割減にとどまると見込まれる。



『BIWAICHI Cycling NAVI』から取得したGPSデータによる走行軌跡



数多くある魅力的なスポットをつなぎ、自然、文化、食、人とのふれあいを通じ、県全体がサイクリング観光により盛り上がることを目指す。